



学校だより

平成29年9月27日
四日市市立小山田小学校

みんなの心が一つになった！運動会の思い出～その2～

最も時間をかけて練習してきた「表現」運動。どの学年も見事に演じ切り、会場から大きな拍手を受けました。

1・2年「タッタ」（♪歌：ゆず）

自分で選んだカラフルな手袋をつけて、リズムに乗って楽しく踊りました。カニ歩きのポーズもとてもかわいかったです。1年生は、初めての運動会でしたが、2年生に負けないぐらい上手でした。



3・4年「マイバディ・パート2」（♪歌：超特急）

軽快なリズムに合わせて、歌いながら笑顔いっぱい踊りました。手のひらを合わせて左右に動かすところも見事にそろいました。友だちと手をつないで輪の形になる隊形移動もバッチリ決まりました。



5・6年「岳」

一つ一つの技がビシッと決まるたびに、大きな歓声と拍手が起こりました。技の間も砂をはらうことなく、引き締まった表情で集中しました。演技後のパフォーマンスでは、いつもの笑顔がはじけていました。



感謝～保護者・地域の皆さん、ありがとうございました！～

今年の運動会は、赤組の逆転優勝となり、大成功のうちに幕を閉じました。

保護者、地域の皆様のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。特に、前日は小雨の中でテント設営や杭打ちなど準備をお願いし、当日も様々な場面でお世話になりましたPTA本部や専門部の皆さん、また、自主的に準備・後片付けのお手伝いをいただいた多くの保護者・地域の皆さん、さらには、今年度も駐車場のライン引きや車の誘導などで長時間ご協力いただいた交通安全協会の皆さん等、運動会に関わっていただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

スズメバチに注意！！ ※オオスズメバチは、土の中、木の根っこなどに巣をつくります。

スズメバチは、巣に危害を加えると見なした敵を攻撃するそうです。巣に近づく(数m～10m程度)相手に対して「威嚇行動」をとります。相手の周りをしつこく飛び回ったり、ねらいをつけて空中で停止したり、『カチカチ』という音を出したりするそうです。

驚いて騒いだり、はたき落そうとしたりすると余計に危険です。ハチが周囲を飛び回る段階で、静かに姿勢を低くして、静かにその場を離れることが重要です。

学校でも、子どもたちに注意を促すとともに、スズメバチの巣を発見した場合は、速やかに駆除してもらうように関係機関と連携を取っていきます。



おはよう！ またあした！ おやまだっ子通信



小山田小学校長

全国学力・学習状況調査の結果から②

今回は、6年生に対して行われた「児童質問紙」と、学校に対して行われた「学校質問紙」の結果から、小山田っ子の特徴（学習面・生活面）や本校の学校教育の取り組みについてまとめます。



【児童の学習や生活について～「児童質問紙」の結果より～】

① 学習面

「普段、1日にどのくらい勉強しているか」について、「2時間以上」「3時間以上」の割合が全国平均よりかなり高い結果となりました。休日についても同様の結果となり、家庭学習がしっかりと定着していることがわかります。また、「読書が好き」と答えた児童が多く、「本を読んだり、借りたりするために、図書室に行くか」についても、「週に4回以上」と回答した割合が全国より高くなっています。

「先生は、あなたの良さを認めてくれるか」「分かるまで教えてくれるか」の問いに関しても肯定的で、教師の指導に対して信頼を置いていることがわかります。さらに、「ノートには、めあて・まとめを書いたか」「授業で友だちと話し合う機会があったか」「友だちの考えを受け、自分の考えを持ったか」などの問いにも肯定的な回答が多く、本校が大切にしてきた授業づくり（めあて・振り返りの提示、ノート指導、小グループでの話し合い活動、など）の成果について児童が手ごたえを感じていることをうれしく思います。

しかし、「国語で、自分の考えの理由を書いているか」については、全国平均を下回っています。学調の結果はよかったものの、児童にとっては考えの根拠をノートなどに書いてまとめる経験が十分ではなく、苦手意識があるのかも知れません。

② 生活面

「友だちと会うのは楽しいか」「好きな授業があるか」の問いに、ほとんどの児童が「そう思う」と回答しています。友だち関係が良好で、授業にも前向きに参加し、楽しく学校生活を送っていることがわかります。

「自分にはよいところがあると思うか」「将来の夢や目標があるか」の問いに対しても肯定的な割合が高く、自尊感情や前向きな気持ちが育まれていることがわかります。

また、「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」では、いずれも肯定的な回答が100%です。人権を大切に考え、人の役に立つことに喜びを感じられる児童であると思います。

さらに、「家の人と学校の出来事を話すか」「家の人は学校行事に来るか」では、肯定的な回答が全国平均よりも高く、本校の保護者の皆さまの子育てや学校教育に対する関心の高さが本校児童により影響を与えていることが伺えます。



【学校教育の取り組みについて～「学校質問紙」の結果より～】

① 平成29年度学力・学習状況調査について、全教員で自校採点を行いました

全教員が問題の傾向を把握し、児童の強みや課題について分析を行い、各学年での指導の重点や手立てについて考える機会を持ちました。また、夏季休業中に西陵中学校や水沢小学校と合同研修会を行い、調査の結果から見てきた各校の成果と課題、子どもの実態や教育活動などについて情報交流を行いました。

② 調査の結果を踏まえた授業改善を実践しています

自分の考えを持って表現する活動につなぐために、全学年で書く活動に取り組んでいます。学び合いの授業づくりに重点を置き、ペアや少人数で話し合い、自分の意見を分かりやすく相手に伝えるためのコミュニケーション力を育てるよう取り組んでいます。学習に対する意欲、関心を高め、達成感を味わわせるために、発問や課題を工夫して、授業の始めに「めあて」を提示し、終わりには「振り返り」活動を行い、次時につなぐように指導しています。電子黒板などの機器や具体物を活用するなど指導の工夫をしています。

また、昨年度に続き、主に算数科で複数名の教師による少人数教育（ティーム・ティーチング）の研究を進めています。児童個々の課題に応じたよりきめ細かな指導ができるよう取り組んでいます。

③ 家庭と連携して、学習習慣の確立をめざします

『家庭学習の手引』を配布し、家庭学習の進め方について、学校と家庭との連携を図っています。

④ 小中学校の連携を図り、継続的な学びを進めています（中学校区「学びの一体化」）

中学校の先生による乗り入れ授業によって、子どもたちが中学校を身近に感じ、学習意欲が向上するよう取り組みました。小学校からは、夏季休業中に中学生の部活や補充学習の支援に参加しました。